

様式第1号

兵庫県福祉サービス第三者評価の結果

1 評価機関

名 称	特定非営利活動法人 CSウオッチ
所 在 地	明石市朝霧山手町3番3号
評価実施期間	平成22年9月16日～平成23年1月18日 (実地(訪問)調査日平成22年12月9日)
評価調査者	HF05-1-0054: 西海秀樹 HF05-1-0055: 坂本昭男 HF05-1-0056: 中村紀雅

※契約日から評価  
結果の確定日まで

2 福祉サービス事業者情報

(1) 事業者概要

事業所名称: 社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団 (施設名) (特別養護老人ホーム あわじ荘)	種別: 特別養護老人ホーム
代表者氏名: 理事長 砂川 静壽 (管理者) (あわじ荘所長 謝 世業)	開設(指定)年月日: 昭和・平成 49年10月 1日
設置主体: 社会福祉法人兵庫県社会福祉事業団 経営主体: 特別養護老人ホーム あわじ荘	定員 110名 (利用人数) 110名
所在地: 〒656-1727 淡路市野島貴船229番の1	
電話番号: 0799-82-1950	FAX番号: 0799-82-1754
E-mail: info_awaji@hwc.or.jp	ホームページアドレス: http://www.hwc.or.jp/awaji/

(2) 基本情報

<p>理念・方針</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1 一人ひとり尊重し、自らの意思と責任でその人らしい生き方ができるよう支援します。</li> <li>1 総合的な地域ケアのしくみを築き、福祉文化の創造をめざします。</li> <li>1 ニーズを敏感にとらえ、先駆的な実践により社会に貢献します。</li> <li>1 福祉の心と高い専門性を育み、働きがいのある職場をつくります。</li> <li>1 公正・効率的な組織運営と安定した経営基盤を確立します。</li> </ul> <p>力を入れて取り組んでいる点</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>1. 利用者本位のサービスの提供</li> <li>2. 地域で支え合う仕組みづくり</li> <li>3. 医療と福祉の連携による事業推進</li> <li>4. 人材育成と働きがいのある職場づくり</li> <li>5. 経営基盤の安定・強化</li> <li>6. 施設整備事業の推進</li> </ul>
---

	職 種	人 数	職 種	人 数	職 種	人 数
職員配置 ※( )内は排働	施設長	1 (0)	看護師	5 (2)	調理職員	10 (6)
	事務員	6 (4)	栄養士	1 (0)	医師	2 (2)
	介護職員	65 (34)	理学療法士	1 (0)	その他	5 (4)

施設の状況  
当施設は昭和49年10月に開設、平成13年4月に新設移転。現状はユニット型対応している。兵庫県のに位置する淡路島の北部、播磨灘の青い海と汐鳴山系の緑映える淡路島野島の地に、平成13年4月に新設移転され、長期利用110名、短期利用10名の生活介護と居宅介護支援事業及び12名の認知症対応型通所介護事業を行なう指定介護老人福祉施設です。

### 3 評価結果

#### ○総評

##### ◇特に評価の高い点

- ・事業団理念は明確で、特に一人ひとりを尊重し、自らの意思と責任でその人らしい生き方への支援する姿勢は、経営層（管理者等）から、職員へ、良く浸透していてサービスの質向上と快適な環境づくり推進の大きな力となっております。
- ・利用者の尊重・保護については、個々の利用者に対し、対応がなされております。
- ・個別サービスは、ユニット会議を中心に、質の向上に向け、よく実施されています。

##### ◇特に改善を求められる点

- ・当あわじ荘は、会議・委員会・対策部会を中心に運営されております。今回の評価過程で、本来サービス向上委員会で検討の内容が、研修委員会でなされていたことが確認されました。会議体間と会議体内の整合性を図り、会議体の議題で述べられているかも知れませんが、それらの中にPDCAのサイクルを組み込み、チェックされていけば、更なる成果が期待できます。
- ・利用者満足調査では、実施されたサービスを評価・分析し、改善課題を出し、計画を策定し進める必要があります。これらの手順を文書化し、仕組みの整備を進めれば、更なる成果が期待されます。
- ・淡路市地域防災拠点の連携と事業団他施設間相互の応援体制は、あわじ荘の地域住民に安全と安心な施設イメージを高め、利用者とのコミュニケーションの機会創出ともなります。管理層のリーダーシップの基、全職員に周知を図り、プロジェクト的活動が期待されます。

○ 第三者評価結果に対する事業者のコメント

当あわじ荘の運営について、細部にわたり確認作業をしていただきました。

利用者への個別サービスについては、特に高い評価をいただきました。

今後も更なる個別サービスの充実を推進していきます。

また、改善を求められる点としてご指摘いただきましたPDCAサイクル手法についてこれまでの取り組みを更に強力にすすめていきたいと考えます。

PDCAを検討するための会議の審議事項を明確にする必要のご指摘や、組織の簡素化も検討されるようにとのコメントをいただき、今後の課題として取り組んでいきます。

利用者満足調査については、手順を文書化し仕組みの整備に取り組み、サービスの提供に活かしたいと考えます。

今回、受審したことで、これまでの業務を振り返る機会となりました。その他のご指摘いただいた項目についても、今後の課題とし速やかに改善していきたいと考えます。

○各評価項目に係る第三者評価結果  
(別紙1)

○各評価項目に係る評価結果グラフ  
(別紙2)